

シーズH 公募 Q&Aシート

2025/6/1

	ご質問	回答
1	共創チャレンジ枠について、共同で申込む研究者はAI技術を持つ研究者のみでしょうか？	共創枠に応募される場合は、2名で応募いただくことが必要です。共創枠（チャレンジ）での応募の場合も2名での応募が必要ですが、2名の内1名はAI技術を持つ研究者の方としていただく事が必要です。
2	共創枠について、異なる分野の研究者同士で申込とありますが、どの程度分野が離れていることが必要でしょうか？	競争枠は、異分野領域の先生方の技術を融合させて革新的なものを生み出していただきたいという事を意図しております。専門性の関連性がどれほど異なるか、ではなくご提案いただいた内容がどれだけ革新的かでご評価させていただきます。どれだけ離れているかは特に限定はございません。
3	九州大学拠点にてコーディネートいただけるのとことですが、応募までにマッチングできなかった場合は応募不可となるのでしょうか？	応募前のマッチングについては、ご対応させていただきますが、応募までにマッチングできない場合は残念ながらご応募いただけません。
4	チャレンジ枠ですが、医歯薬研究者とAI研究者は不可で共創枠はOK？再確認です。	AI研究者と医歯薬系以外の領域の研究者の2名の方での応募となります。
5	チャレンジについて：AI研究者として共著論文がないこととの応募条件がありますが、こちらは学会プロシーディングのような審査のない学会要旨のような論文は含まれないとしてよろしいでしょうか。基本的に国際誌等審査のある学術誌への共著論文がないことでよろしいですか？	ご理解の通りです。基本的に国際誌等審査のある学術誌への共著論文がないこととさせていただきます。
6	AI技術を持つ研究者と、医学系の研究者で申請する場合はチャレンジ枠および一般枠でよろしいでしょうか。	AI研究者と医歯薬系領域の研究者でご応募いただく場合は、一般枠でのご応募となります。
7	共創枠について、2年間支援基本との事ですが、ステージゲートはどの時点でステージゲートは設定されるのでしょうか？また、その判断時期はいつ頃となりますでしょうか？	ステージゲートについては、採択後に採択者と協議の上設定いたします。またステージゲートの判断時期は、年度末(3月末を予定)を予定しております。
8	共創枠について、1年目の1Qにて、医療従事者の先生とコーディネートいただけるのとことですが、コーディネートいただいた先生と共同研究は必須となるのでしょうか？	医療現場観察等といった医療従事者との議論の場のコーディネートをさせていただきます。かならず医療従事者との共同研究が必要といったことはございません。
9	聞き逃したかもしれませんが、2年目に一般枠への応募の際は優先的に審査されるのでしょうか？（共創枠でないほうチャレンジ枠です）	同時に応募された課題と同様に評価させていただきます。
10	本研究予算で、開発デバイスの生体内の安全性評価を実施することを計画しています。採択後に、安全性評価を委託する機関、又は九州大学内での安全性評価を実施することを相談し、ご紹介いただくことは可能でしょうか？また、その費用を研究予算で充当することはできますでしょうか？（他機関への支払い、又は九州大学への支払いは可能でしょうか？）	どちらも可能です。
11	シーズHにおいて研究が早期のテーマとのことですが、申請時の実験データはどの程度まで要求されるのでしょうか。Proof of Conceptを行う、という形で良いのでしょうか。	評価項目の中には「開発実現性の根拠、予備的データはあるか」もありますので、ある程度データがあることが望ましいです。一方で医療現場での実装に向けたデータをこれから取得することを目的とするご提案の場合でも、アイデアベースではなく、基礎研究での成果のデータをお示しいただくことが望ましいです。
12	知財化を目指すことが要件の場合、特許出願した案件はダメですか？	取得済みの特許の補強あるいはPCT出願のために必要なデータ取得という形でご提案いただければと思います。
13	これまでの特許を活用するだけではだめなのでしょうか	ご提案内容にもよりますので、個別相談をお申込みください。